

(平成18年2月20日)

《建設業労働災害防止協会 宮城県支部》

鉄板(1.5 トン)をトラックへ積込み作業中 下敷きとなり死亡!!

— 2月13日に続いて死亡災害続発 —

去る2月16日(木)午前11時20分頃、仙台市宮城野区中野の土地区画整理事業の工事現場で、作業員(男45歳)が大型トラック(8.5トン)に敷き鉄板(1.5トン)を積み込む作業をしていたところ、横倒しになった鉄板の下敷きとなり死亡しました。

詳しい災害の発生状況及び原因については目下、仙台労働基準監督署で調査中ですが、大型トラックの荷台上で誘導作業をしていた被災者が、バックホウのバケットにワイヤを掛けて吊り上げていた鉄板の端が荷台に下りたときに鉄板に差し込んだワイヤが外れたらしく、そのため鉄板が倒れた模様です。バックホウの吊上げに問題はなかったのか、荷の玉掛け、玉外しの資格はあったのか等については、仙台監督署で調査中のようです。

間もなく3月、「年度末労働災害防止強調月間」です。毎日の作業の安全管理を一層推進され、労働災害の防止に努められるようお願い致します。